

献詠入選句（一般の部）

一位

寒鯉の色を失ふまで沈む

神奈川県横浜市

大坪正美

二位

ほろほろと古巢の崩れ西行忌

神奈川県中郡大磯町

清水和子

三位

きのふよりけふが明るし落葉道

茨城県守谷市

狩野勝吉

四位

のほほんとのほほんとして吊し柿

神奈川県平塚市

瀧谷弥可

献詠入選句（小学生の部）

一位 マスクするえがお失うかなしいな

大磯町立国府小学校

近藤姫璃奈

二位 夜の空さくらが空にふってくる

大磯町立国府小学校

菅原希咲

三位 墓参りじいちゃん空で笑ってる

大磯町立国府小学校

岡部愛未

四位 新学期マスクの下にドキドキを

大磯町立国府小学校

佐藤汐莉

献詠入選句（中学生の部）

一位 朝練が楽しくなつた冬の朝

大磯町立国府中学校

飯島辰徳

二位 藍色に染まる夏空麦わら帽子

大磯町立大磯中学校

相原颯

三位 沈黙のパワーショベルや冬の星

茨城県立並木中等教育学校 會澤紬

四位 暑さという記憶を飛ばす扇風機

岩沼市立岩沼中学校

齋藤蒼空

献詠入選句（高校生の部）

一位 瓶の中いつかのきみの桜貝

愛知県立幸田高等学校

宇野ひなた

二位 温度計見上げる冬の化学室

武蔵野大学付属千代田高等学院 永井蒼太郎

三位 凍蝶を解かす観光客の声

愛知県立幸田高等学校

難波晴菜

四位 木の実降る太古の音の響きけり

聖ウルスラ学院英智高等学校

横溝麻志穂